

令和6年度 八洲学園高等学校事業計画書

1. 施設の概要

(1) 設置会場（キャンパス）一覧

名称	所有区分	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
本校事務センター	法人所有	593-8327	大阪府堺市西区鳳中町 7-225-3	072-262-5849	072-262-8282
堺本校	法人所有	593-8327	大阪府堺市西区鳳中町 8-3-25	072-262-8281	072-264-0950
大阪中央校	法人所有	540-0004	大阪府大阪市中央区玉造 1-3-15	06-6762-1248	06-6762-1249
梅田キャンパス	賃貸	530-0003	大阪府大阪市北区梅田 1-3-1 大阪駅前第一ビル 2F	06-6343-1173	06-6343-1174
三宮キャンパス	賃貸	651-0086	兵庫県神戸市中央区磯上通 8-1-33 幸和ビル 2F	078-261-2835	078-261-2836
横浜分校	法人所有	220-0021	神奈川県横浜市西区桜木町 7-42	045-312-5588	045-312-5606
新宿キャンパス	賃貸	160-0022	東京都新宿区西新宿 7-11-18 711 ビル 7F	03-3225-5491	03-3225-5494
池袋キャンパス	賃貸	171-0022	東京都豊島区南池袋 3-11-10 ペリエ池袋 4F	03-5954-7391	03-5954-7503
町田分室	賃貸	194-0022	東京都町田市森野 1-27-14	042-851-7192	042-851-7193

2. 学生（生徒）の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（令和5年5月1日現在）

設置課程	設置学科	入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③技能連携 在籍者数 (人)	④聴講生数 (人)	収容率 (%) (②+③) ÷ ① × 100
通信制課程 (広域)	普通科	※※※※※※	3,000	1,248	581	4	61.0%

※④は通年での登録者数

(2) 令和6年度入学者数・卒業者数・転学者数・退学者数・除籍者数予測一覧

	入学者数 (途中転編含む)	卒業者数	転学者数	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	939	約 800	約 5	約 10	約 20 名	約 100 名
聴講生	5	—	—	—	—	—

3. 教職員関係

(1) 令和6年度管理職の概要

職名	氏名	備考（留任・新任等）
校長	林 周剛	留任
副校長	吉田 士文	留任
教頭	南條 将範	留任
教頭	大本 真梨子	新任
主幹	岩谷 彰太	留任
事務長	堀田 由紀子	留任
事務次長	堀之内 里恵	留任

(2) 令和5年度教職員の概要（令和5年5月1日現在）（教員）（ ）は管理職の数。非常勤講師 関西一堺本校、関東一横浜に集約。

		合計（人）	堺本校	事務C	大阪中央	梅田	三宮	横浜分校	新宿	池袋	町田
教員	本務	51 (6)	8	5	7	5	5	8	4	5	4
	非常勤	110	65					45			
職員	本務	13 (2)	1	5	1	1	1	1	1	1	1
	兼務	10		6				4			

平均年齢 ①専任・常勤の平均 教員 男 41歳 女 40歳 職員 男 - 歳 女 38歳

②非常勤講師の平均 男 55歳 女 56歳

令和6年度予定 非常勤講師 関西一堺本校、関東一横浜分校に集約。

	採用区分	合計（人）	堺本校	事務C	大阪中央	梅田	三宮	横浜分校	新宿	池袋	町田
教員	本務	52（5）	9	5	7	5	4	8	4	5	4
	非常勤	120	75					45			
職員	本務	14（2）	1	5	1	1	1	2	1	1	1
	兼務	10		6				4			

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

- 1、ベーシックサポートクラス・マイスタイルサポートクラス・5年制クラスの定着化
- 2、ホームサポートクラスの人数増
- 3、中等部の人数増
- 4、生徒・保護者・一般の方に向けた特別公開講座の開設
- 5、支援を要する生徒への就労支援指導

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

サポートクラス（B、M、H、5年制）の入学生（転編入生含む）の昨年度比100%が目標です

中等部は各施設で年間30名合計300名の登録もしくは施設利用が目標です。

卒業対象者の内、支援を要する生徒さんの就労支援の充実（就職実績、就労移行支援施設への入所）が目標です。

① 主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
6	サポートクラス運営の定着化 ホームサポートクラスの入学者増	3学年がすべて揃ったサポートクラスの生徒入学者数を安定的に受け入れ、運営内容の充実を図り、運営を定着化させる。 また、不登校生や支援を要する生徒さんに対する、学習サポートをさらに拡充し、ホームサポートクラスの入学者数を増やす。	令和5年度の実績は会計書類参照。
5	中等部	平成26年度より新規で開設した中等部の登録者数を増やす。 不登校の中学生に対し新たな学び場を提供し、所属中学校への学習復帰の一助となる。	令和5年度登録者総数 164名。
5	支援を要する生徒さんへの就労支援の充実	支援を要する生徒さんへの就労支援の充実の為、校内模擬会社を設立し、生徒さんに入社から就労までの模擬体験を経験してもらう。	

② 施設・設備の整備計画

大阪中央校校舎改修、事務C教室改修およびトイレ改修

(3) その他

① 授業料変更等

年度	事項	概要
	特にありません	

② 卒業者数、就業者数、学位授与数の見込みについて

2、(2)の実数値を参照

③ 学生生徒の就職、進学状況について（令和5年度3月卒業予定者800名・技能連携校180名 合計800名の内

- ・ 大学進学者：100名 短期大学進学者：10名 専門（各種）学校進学者：150名 就職内定者（学校斡旋のみ）：50名
（令和5年度3月現在で未確定のため予定数）

④教職員採用・退職計画

年度	事 項	概 要
6	教職員採用 (1年契約:常勤・非常勤講師・パート・アルバイト)	常勤講師 (1年契約・30名) 常勤事務 (1年契約・5名) 非常勤講師 (1年契約・約130名) パート・アルバイト (1年契約・約10名)

⑤今後の課題について

- ・各施設で安定した運営行うために、継続して一定数の入学者および生徒数の確保が必要。
地域密着の取り組みを行い、近隣エリアに在住の方がより安心して通学してもらえる学校運営を行う必要がある。
- ・文部科学省による通信制高校の新しいガイドラインが設定され、学校運営内容、教育内容について、新しいガイドラインを基準にし、定期的な点検と見直しを行う必要があります。
- ・近数年にわたり生徒数が増加傾向であり、現在の施設内容では教室数など学校施設の受け入れ可能人数の限界が近づいている。
近年は少人数対応、個別対応の傾向にあり、1教室40人以下という基準も明確になったので、施設の改修や修繕等を行い、適切な教育環境を人数にあわせて整えていく必要がある。

5. 財務の概要 (別紙参照)

サポートクラスの入学者数が安定しているため、クラス費収入等、令和6年度も期待ができる。※詳細は別紙当初予算書類を参照。
収入は安定しているが、経費削減や人件費の抑制などの取り組みも引き続き行い、次年度以降に繋がる運営をする所存である。